

関東部会の取組ご紹介

新宅 純二郎

第83回 2015年9月19日(土) 14:00~17:00

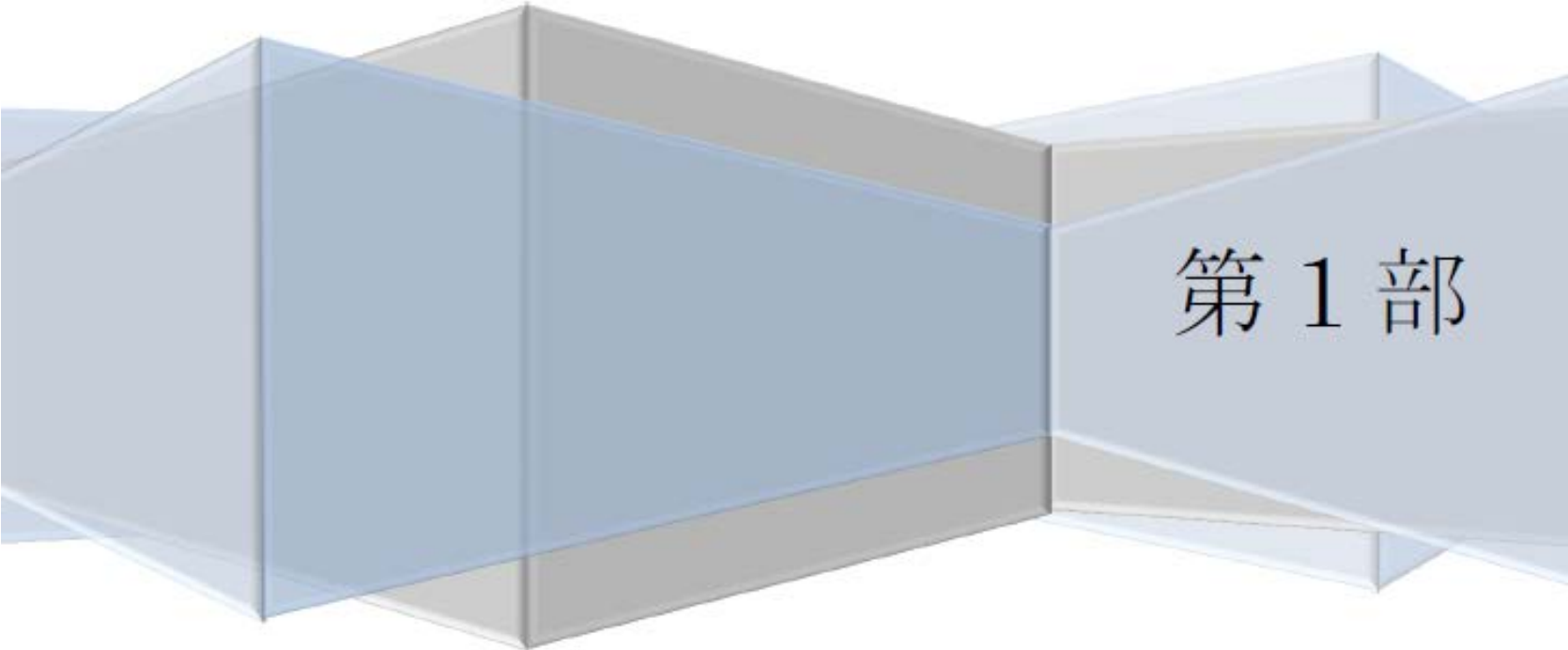
「日本人研究者が国際化するには」

会場	早稲田大学 早稲田キャンパス 11号館 4階 第四会議室
司会	新宅純二郎(東京大学)
登壇者	14:00-14:30 井口知栄(慶應義塾大学) 「国外の国際ビジネス関連学会とジャーナルとの関わり方」
	14:30-15:00 臼井哲也(日本大学) 「日本の若手研究者の国際化における諸課題: 私の試行錯誤」
	15:00-15:30 浅羽茂(早稲田大学) 「国際学会を楽しむ」
	15:30-16:00 磯辺剛彦(慶應義塾大学) 「シニアエディターからみた良い論文、悪い論文」
16:00-16:10	休憩
16:10-17:00	パネルディスカッション&質疑応答

日本の大学で学ぶ研究者が 国際化するには

関東部会・学会誌編集委員会共同企画

国際ビジネス研究学会



第1部

磯部剛彦「シニアエディターからみた、良い論文、悪い論文」『国際ビジネス研究』2016秋号

- シニアエディターとして
 - ① はじめに
 - ② 先行研究レビュー
 - ③ 仮説
 - ④ 方法論
 - ⑤ 議論
- 若い研究者に伝えたいこと
 - ① 概念
 - ② はじめに 問題意識
 - ③ 研究テーマ call for paper
 - ④ 手本とすべき論文
 - ⑤ 研究チーム

第84回 2016年2月6日（土） 14：00～17：30

第一報告	14:05-14:45
	河野英子(横浜国立大学) 「『国際ビジネス研究』の編集状況について」
	14:45-15:00 質疑応答
第二報告	15:00-15:40
	大木清弘(東京大学) 「国内ジャーナルから海外ジャーナルへ： 査読コメントから学んだもの」
	15:40-15:55 質疑応答
休憩(調整時間) 間)	15:55-16:10
第三報告	16:10-16:50
	浅川和宏(慶應義塾大学) 「私にとっての国際学会活動」
	16:50-17:05 質疑応答
全体の質疑応 答 まとめ	17:05-17:30
	新宅純二郎(東京大学)

大木清弘「国内ジャーナルから海外ジャーナルへ：査読コメントから学んだもの」

I. 私の研究史：国内→英語→海外

II. 査読コメントとはどのようなものか？

III. 査読コメントから何を学ぶか？

IV. 査読コメントにどう対応するのか？

テーマ	「研究方法論ワークショップ」
第一報告	14:00-14:35
	安田直樹(立教大学) 「国際ビジネス研究におけるパネルデータ分析」
	14:35-14:55 質疑応答
第二報告	15:00-15:35
	馬場一(関西大学) 「国境を越えて測定するための方法論」
	15:35-15:55 質疑応答
第三報告	16:00-16:35
	金熙珍(東北大学) 「科学的ケース・スタディの要件：IBトップ3ジャーナル掲載論文からの帰納的探究」
	16:35-16:55 質疑応答

国境を越えて測定するための方法論

関西大学商学部 馬場一

- リサーチャーが直面する問題とその実例
- 比較可能性
- 新しい尺度開発の道筋
- 動的な研究視座
- まとめと問題提起

科学的ケース・スタディの要件 : IBトップ3ジャーナル掲載論文からの帰 納的探求

東北大学経済学研究科

金熙珍

研究方法

1. JIBS, MIR, JWB*の5年間の論文718本の電子ファイルを確認
→ 定性研究92本を選別



2. 92本のうち、20本の本文全体を精読しながら、共通してみられる項目を整理→9項目



3-1. 残りの72本の序論及び方法論部分を精読しながら、9項目の記述状況をエクセル表にチェック。

3-2. 9項目の記述内容及び特徴を整理

*DuBois & Reeb(2000)、Lahiri & Kumar(2012)によるIB分野のトップ3ジャーナル

「型」の存在

→海外と共通したプラットフォーム上で定性研究を実行・議論する必要性

1. 研究 デザイン	1-1. 定性的アプローチの妥当性及び特定の調査方法の選定理由
	1-2. 研究のコンテキスト及び対象の選定理由
	1-3. インタビュー対象の選定基準と選定のプロセス
2. データ収集	2-1. データの三角測量(Triangulation)
	2-2. データの記録方法の客観性及び定型性
	2-3. インタビュー・プロトコル(ガイドライン)
3. データ分析	3-1. データ分析の方法とプロセス
	3-2. コーディング・ツール
	3-3. 分析やコーディング結果の妥当性・信頼性チェック

*しかし、9つの項目全てを無理に取り入れる必要はない。

第86回 2016年7月16日（土） 14:00-17:30

関東部会 「研究ブラッシュアップ・セッション」

日時	2016年7月16日（土） 14:00～17:30
会場	東京大学本郷キャンパス 経済学研究科学術交流棟 小島ホール、3会場で9発表

- ・6月1日～16日：指定の申込書 & 研究要旨（4枚以内）を提出
- ・6月下旬：発表者9名および2名ずつのアドバイザーの決定
- ・7月上旬：発表資料の提出（フルペーパーを添えても良い）
- ・7月16日：発表20分、コメント＋質疑40分

発表の完成度、コメントの内容は多様。

多くの共通した問題：研究のRQ、課題設定、リサーチギャップが不明確ないしは不適切。

第87回 2016年9月24日（土） 14：00-17：30
関東部会「共同研究マッチング・セッション」

日時	2016年9月24日（土） 14:00～
会場	早稲田大学早稲田キャンパス18号館 国際会議場 3階第3会議室 〒169-0051 東京都新宿区西早稲田1-20-14
発表20分、質疑25分	
14:00-14:45	司会：大木清弘（東京大学）
	蔣 瑜潔（横浜国立大学大学院） 「中国と日本の企業経営の比較研究」
14:55-15:40	司会：白井哲也（日本大学）
	内野敏彰（みずほ証券） 「中国企業によるM&Aと『中国的経営』に関する研究」
15:50-16:35	司会：朴 英元（埼玉大学）
	菅原秀幸（北海学園大学） 「Paradigm Shift in the 21st century boosted by AI: PCO(Payed, Closed and Occupied) to FOS(Free, Open and Share) paradigm」